

『数学教育史研究』原稿ルール

①タイトルセクションのページ設定

- ・文字数と行数のタブ 段数1 文字数 53 行数 45
設定対象 このセクション
フォントの設定 MS明朝 Century 標準 10p
- ・余白 上 35 下 25 左 20 右 20
- ・その他 ヘッダー15 フッター17.5

②本文・注セクションのページ設定

- ・文字数と行数のタブ 段数 2
文字数 25 行数 45
設定対象 このセクション
フォントの設定 MS明朝 Century 標準 10p
- ・余白 上 35 下 25 左 20 右 20
- ・その他 ヘッダー15 フッター17.5

③フォント全体を再設定（二つのセクションに関して）

- ・フォントの設定 MS明朝 Century 標準 10p

④本文中の独立した引用の形式

- ・2字下げ。前後に1行空けない。引用の最初と終わりには「」はつけない。

⑤タイトル・本文等の配置

- ・タイトル：1行目
- ・副題：2行目
- ・氏名：5行目
- ・本文：16行目から書く。

⑥本文・注フォント・サイズ詳細設定

- ・タイトル：MS明朝、18p、太字。センター合わせ
(ただし、文字数が多い場合にはポイントを落とすことも可とする)。
- ・副題：MS明朝、14p、標準、センター合わせ。
- ・氏名：MS明朝、14p、標準。氏と名の間に1文字空ける。センター合わせ。
- ・本文：MS明朝、10p、標準。

- ・節のタイトル：MSゴシック（英文は日本語と同じ）、10p、標準。センター合わせ。
「1. ○○」と数字の後にピリオド。節タイトルの後、一行空けずに本文を続ける。
- ・項のタイトル：MS明朝、10p、太字。左寄せ。
- ・「註」「参考文献」など：MSゴシック、10p、標準。センター合わせ。
前は2行空ける。
- ・注の本文：書式は本文と同じ。（ポイントを下げないこと）

⑦原稿受理日等 → 罫線で表を作る

- ・下の原稿受理日・所属：MS明朝、9p、標準。
- ・*、**とその後の所属などの間に一字空ける。
- ・上の罫線のみ残す。太さ0.25
- ・表のプロパティ 幅75mm。
位置→水平 位置：左、基準：余白
垂直 位置：下、基準：余白
行タブ→高さ13mm
セルタブ→垂直方向の配置：中央揃え

⑧欧文要旨

- ・タイトル：Century、16p、太字
- ・副題：Century、14p、標準
- ・氏名・所属：Century、12p、標準
- ・本文：Century、10p、標準

⑨その他

- ・一頁丸々取る表などは、文章の最後に置く。サイズは①のサイズ内に収める。
- ・ワードの注機能は用いない。注は上付きで表記する。
- ・一文の引用は、文中に「 」で入れる。（要望）

2011.11.11（改正）

2012.11.09（改正）